

推進編

第6章 重点地区等の景観形成

1. 重点地区、重要地区の位置付け

本市の景観は地域ごとに多様な特性があり、本市全体の景観形成を一体的に推進・保全していくことは困難です。そのため、景観形成上先導的に景観形成を推進・保全していく地区を重点地区、重要地区と定めます。

○重点地区

全市的に良好な景観形成を進めるために、先導的に景観形成を取り組む地区を定め、景観形成を推進し、段階的に対象範囲を拡大していく、または増やしていく必要があります。そのため、景観計画区域の中で、重点的に景観形成に向けた取り組みを行う、景観上重要かつ象徴的・代表的な地区を「重点地区」として設定します。

○重要地区

市内各地域では、その地域特性に応じた景観が形成されていますが、その中でも市内の他にはない特徴的な景観特性を持つ景観形成上重要な地区を「重要地区」として設定し、地域特性に即した景観形成に努めます。

2. 重点地区等の設定

本市の良好な景観形成を推進・保全していくため、景観上重要かつ象徴的、代表的な地区から先導的に景観形成を取り組み、段階的に対象地区を拡大していく必要があります。

そのため、本市の景観特性、上位計画、関連計画、大分きれい100選、法規制の状況や現在の景観まちづくりの状況等を加味したうえで重点地区候補地を選定します。重点地区候補地の中から、「1. 平成18年度（2006年度）策定の旧大分市景観計画における重点地区、重要地区を継承」、「2. 基本方針の実現に貢献」、「3. 地元の熟度等」を考慮し、重点地区・重要地区を設定しました。

重点地区・重要地区 設定フロー

【重点地区候補地の抽出】
本市の景観特性、上位計画、大分きれい100選を踏まえ以下の18地区を重点地区候補地とする

①大分駅南口地区	⑩豊後国分寺地区
②大分駅北口地区	⑪今市石畳・棚田・ななせダム地区
③大分城址公園周辺地区	⑫鶴崎地区
④大友氏遺跡周辺地区	⑬高田輪中地区
⑤都心の森周辺地区	⑭戸次本町地区
⑥都心景観軸地区	⑮佐賀関港・佐賀関漁港周辺地区
⑦西大分地区	⑯豊予海峡眺望地区
⑧高崎山・別府湾眺望地区	⑰郊外住宅団地地区
⑨柞原八幡宮地区	⑱臨海工業地区

【重点地区設定の視点】

1. 平成18年度（2006年度）策定の旧大分市景観計画における重点地区、重要地区を継承

重点地区	おおいた都心地区、西大分港周辺地区
重要地区	戸次本町周辺地区、佐賀関港周辺地区、野津原今市周辺地区 豊後国分寺周辺地区、鶴崎・高田輪中地区

2. 基本方針の実現に貢献

1. 自然景観の保全	高崎山、佐賀関半島周辺、大分川、大野川、野津原
2. 眺望景観の確保	郊外住宅団地、臨海工業地域
3. 沿道及び鉄道沿線等の景観の保全・形成	西大分港周辺、高崎山、佐賀関半島周辺、大分川、大野川
4. 本市のシンボルとなる景観づくり	大分駅を中心とする都心地域
5. 身近な景観の保全・形成	今市、戸次本町、高田輪中、佐賀関等、郊外住宅団地

3. 地元の熟度等
以下にあるような地元活動組織の存在等（例）

⑦西大分地区	NPO 大分ウォーターフロント研究会
⑬高田輪中地区	鶴崎文化研究会、鶴崎地区文化財研究会、高田公民館ふるさと講座、日本世間遺産学会開催
⑮佐賀関港・佐賀関漁港周辺地区	大分県建築士会佐賀関支部 佐賀関空き家再生プロジェクト

(1) 重点地区候補地の抽出

① 景観特性による重点地区候補地

上位・関連計画や、第2章で整理した景観特性等を踏まえて大分市全域を見てみると、18の特性ある地区（A～R）に整理することができます。

表 景観特性と候補地の関係

	海と山に囲まれた雄大で豊かな自然景観			大分の歴史・文化の営みを感じる景観				現在の土地利用と地域の顔をつくる景観			
	(1) 豊かな地勢構造と眺望景観	(2) 豊かな自然景観	(3) 道路、鉄道、船等からの雄大なパノラマ景観	(1) 古代の営みを想起させる神社仏閣周辺の景観	(2) 小藩分立を背景に海の道の道の要衝として栄えたまちなみ景観	(3) 都市の近代化を支えた産業の景観	(4) 時代を越えて政治、経済、商業の中心であり続けてきたまちなかの景観	(1) 新産業都市指定による臨海工業地帯の景観	(2) 大分市の人口急増の受け皿として発展してきた郊外住宅団地の景観	(3) 農村、漁村等でのさまざまな暮らしの景観	(4) 大分市の地域の顔づくりに向けた景観
A まちなか地区	○					○	○				○
B 西大分地区	○		○			○					○
C 高崎山・別府湾眺望地区	○	○	○								○
D 柞原八幡宮地区	○			○							
E 賀来神社地区	○			○							
F 豊後国分寺地区	○			○						○	
G 今市石畳・棚田・なせダム地区	○	○	○		○					○	○
H 西寒多神社地区	○			○							
I 萩原地区	○				○						
J 鶴崎地区	○				○						
K 高田輪中地区	○				○					○	
L 戸次本町地区	○				○					○	○
M 亀塚古墳・萬弘寺地区	○			○							
N 本神崎地区	○				○						
O 佐賀関港・佐賀関漁港周辺地区	○				○	○				○	○
P 豊予海峡眺望地区	○	○	○								
Q 郊外住宅団地地区	○								○		
R 臨海工業地区	○		○					○			

【推進編】第6章 景観形成重点地区等

②重点地区候補地の評価

前頁のAまちなか地区以外の17地区に、細分化したAまちなか地区の6地区を加えた23の候補地の中から、関連計画で景観形成の重要性が位置付けられている箇所や「大分きれい100選」で選出されている箇所等のフィルタリングを行い候補地の評価を行いました。

評価の結果、該当事項が3つ以上の箇所を重点地区候補地（18か所）としました。

表 候補地の評価（※○が3つ以上該当する地区を◎）

候補地 (23地区)		評価項目 (各種計画等)	大分市都市計画 マスタープラン	旧大分市景観計画	大分市歴史的風致 維持向上計画	大分市観光戦略 プラン	大分きれい 100選	関連法規制等	評価※	候補地 通し No
A ま ち な か 地 区	A-1 大分駅南口地区		○	○	○	○	○	地区計画 広告物強化	◎	①
	A-2 大分駅北口地区		○	○	○	○	○		◎	②
	A-3 大分城址公園周辺地区		○	○	○	○	○	地区計画、景観地区 広告物強化	◎	③
	A-4 大友氏遺跡周辺地区		○	○	○	○		公園整備予定	◎	④
	A-5 都心の森周辺地区		○	○		○	○		◎	⑤
	A-6 都心景観軸地区		○	○	○	○	○	広告物強化	◎	⑥
B 西大分地区		○	○	○	○	○	地区計画、景観地区	◎	⑦	
C 高崎山・別府湾眺望地区			○		○	○	市街化調整区域 自然公園	◎	⑧	
D 柞原八幡宮地区		○	○	○	○	○	市街化調整区域	◎	⑨	
E 賀来神社地区				○			市街化調整区域			
F 豊後国分寺地区		○	○		○		市街化調整区域	◎	⑩	
G 今市石畳・棚田・ななせダム地区		○	○	○	○	○	石畳整備、ダム整備	◎	⑪	
H 西寒多神社地区						○	市街化調整区域			
I 萩原地区				○						
J 鶴崎地区			○	○	○	○		◎	⑫	
K 高田輪中地区		○	○			○		◎	⑬	
L 戸次本町地区		○	○	○	○	○	地区計画	◎	⑭	
M 亀塚古墳・萬弘寺地区					○	○				
N 本神崎地区				○						
O 佐賀関港・佐賀関漁港周辺地区		○	○	○	○	○		◎	⑮	
P 豊予海峡眺望地区		○	○		○	○	自然公園	◎	⑯	
Q 郊外住宅団地地区		○	○			○	一部、地区計画 一部、建築協定	◎	⑰	
R 臨海工業地区			○		○	○		◎	⑱	

(2) 重点地区の検討

重点地区候補地（18地区）の中から「1. 平成18年度（2006年度）策定の旧大分市景観計画における重点地区、重要地区を継承」、「2. 基本方針の実現に貢献」、「3. 地元の熟度等」を考慮し、評価を行いました。

表 重点地区等抽出のための地区評価

		1. 平成18年度の重点地区、重要地区を継承※1	2. 基本方針への貢献	3. 地元の熟度等	評価※2
①大分駅南口地区		◎	○	○ 大分駅南まちづくり協議会	☆☆
②大分駅北口地区		◎	○	○ 商店街振興組合 大分まちなか倶楽部	☆☆
③大分城址公園周辺地区		◎	○	○ 大分城址関係団体	☆☆
④大友氏遺跡周辺地区		◎	○	○ NPO 大友氏顕彰会 ボランティアガイド大友氏遊学会	☆☆
⑤都心の森周辺地区		◎	○	○ 大分駅南まちづくり協議会	☆☆
⑥都心景観軸地区	国道197号		○		
	県庁前古国府線	◎	○		
	中島錦町線		○		
	庄の原佐野線	◎	○		
鉄道残存敷			○		
⑦西大分地区		◎	○	○ NPO 大分ウォーターフロント研究会	☆☆
⑧高崎山・別府湾眺望地区		◎	○	○ 日本風景街道 別府湾岸・国東半島 海への道推進協議会 NPO みどりの森プロジェクト	☆☆
⑨柞原八幡宮地区		◎	○		☆
⑩豊後国分寺地区		○			
⑪今市石畳・棚田・ななせダム地区	今市石畳	○	○	○ 今市 石畳まつり実行委員会 肥後街道宿場町再興プロジェクト	☆
	棚田	○			
	ななせダム	○	○		☆
⑫鶴崎地区		○		○ 鶴崎文化研究会 鶴崎地区文化財研究会	
⑬高田輪中地区		○	○	○ 鶴崎文化研究会 鶴崎地区文化財研究会 高田公民館ふるさと講座 日本世間学会開催	☆
⑭戸次本町地区		○	○	○ 戸次本町街づくり推進協議会	☆
⑮佐賀関港・佐賀関漁港周辺地区		○	○	○ 大分県建築士会佐賀関支部 佐賀関空き家再生プロジェクト	☆
⑯豊予海峡眺望地区		○	○		
⑰郊外住宅団地地区			○		
⑱臨海工業地区			○		

※1 ◎は旧大分市景観計画における重点地区、○は重要地区

※2 ☆☆：「1. 旧大分市景観計画における重点地区（◎）」でかつ、「2. 基本方針への貢献」が高く（○）、地元組織が存在するなど「3. 地元の熟度等」が高い（○）

☆：「1. 旧大分市景観計画における重要地区（○）」でかつ、「2. 基本方針への貢献」が高く（○）、地元組織が存在するなど「3. 地元の熟度等」が高い（○）

(3) 重点地区の設定

前項の評価、検討の結果、以下の2地区を重点地区として設定します。

【重点地区】

○おおいた都心地区

- ・大分駅を中心とした大分市の都心部を形成する地区として、大分駅南口地区、大分駅北口地区、大分城址公園周辺地区、大友氏遺跡周辺地区、都心の森周辺地区、都心景観軸地区を含む区域を「おおいた都心地区」として、重点地区に設定します。

○西大分湾岸周辺地区

- ・西大分港から高崎山までの国道10号に沿った海と山の自然や歴史文化を体感できる地区として、西大分地区、高崎山・別府湾眺望地区、柞原八幡宮地区を含む区域を「西大分湾岸周辺地区」として、重点地区に設定します。

(4) 重要地区の設定

前項の評価、検討の結果、以下の4地区を重要地区として設定します。

【重要地区】

○高田輪中地区

○佐賀関港・佐賀関漁港周辺地区

○戸次本町地区

○今市石畳・棚田・ななせダム地区



(5) 特徴ある景観を有する地区

重点地区・重要地区の評価で選出されなかった地域も、地域に根付く歴史・文化や自然、都市活動、生活によって形成された特徴ある景観を有する地区であり、各地区の特徴を踏まえた景観づくりを行っていく必要があります。

以下の各地域においては、地元の気運の高まりや、景観上の重要性の位置付け等により、景観上の特徴を考慮した整備の方向性の検討を行っていく必要があります。

また、以下の地区以外においても、景観エリア区分ごとの景観形成方針と異なる景観形成の必要が生じた場合は、個別に景観整備の方向性を検討していく必要もあります。

○豊後国分寺地区

○鶴崎地区

○豊予海峡眺望地区

○郊外住宅団地地区

○臨海工業地区

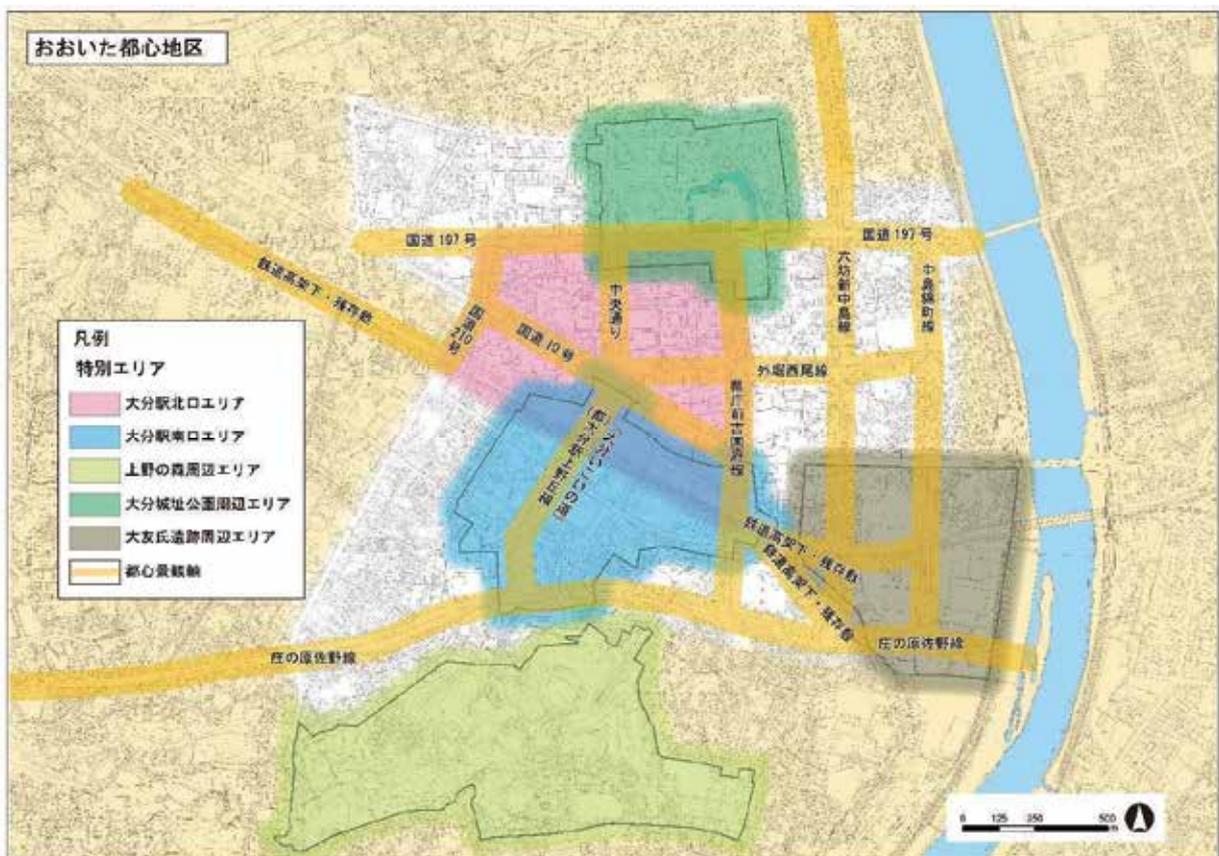


3. 重点地区の景観形成

(1) おおいた都心地区

①区域設定の考え方

- ・複数の重点地区候補地が集積し、本市の中心市街地として景観上先導的に景観形成を進める必要がある区域として「おおいた都心地区」を設定しました。
- ・おおいた都心地区は、大分市都市計画マスタープラン及びおおいた中心市街地まちづくりランドデザインにおける中心市街地をおおむね含む範囲としました。
- ・おおいた都心地区内に存する6つの各重点地区候補地は、おおいた都心地区を構成する景観上重要な特色あるエリア「特別エリア」として設定しました。
- ・大分駅北口エリアはランドデザインの魅力ある商店街づくりのエリアとします。
- ・大分駅南口エリアは、地区計画の区域とします。
- ・大分城址公園周辺エリアは、地区計画、景観地区の区域とします。
- ・大友氏遺跡周辺エリアは、史跡大友氏遺跡保存管理計画の景観形成目標エリアの区域とします。
- ・都心の森周辺エリアは、上野ヶ丘風致地区の区域とします。
- ・都心景観軸は、中央通り、(都)大分駅上野丘線(大分いこいの道)、国道10号、国道197号、国道210号、県庁前古国府線、(都)中島錦町線、(都)庄の原佐野線、(都)外堀西尾線、(都)六坊新中島線、鉄道残存敷沿道の区域とします。



②地区の現状

地区全体

- ・おおいた都心地区を含む大分市の中心部は、飛鳥時代から現代にかけて上野台地を起点に反時計回りに変遷するという歴史的な特色を持っており、現代では、大分駅を中心として南北に市街地が形成され、大分いこいの道、大分県立美術館、祝祭の広場、大分城址公園などの景観資源を有しています。
- ・また、外縁部においては、上野の森や今後整備される大友氏遺跡歴史公園などの景観資源があり、地区の主要な骨格をなす街路網があります。
- ・おおいた都心地区の多くの区域が大分市歴史的風致維持向上計画の重点地区となっています。

大分駅北口エリア

- ・大分駅府内中央口広場は大分の玄関口にふさわしい景観形成がなされており、中央通りを軸として、その周辺にギャラリー竹町、セントポルタ中央町、府内五番街、サンサン通り、ポルトソール通り等の商店街などによるまちなみ景観が形成されています。また、大分市緑の基本計画における緑化重点地区になっています。



大分駅府内中央口広場



ギャラリー竹町



府内五番街

大分駅南口エリア

- ・大分駅周辺総合整備事業による区画整理事業が実施され、大分駅南地区地区計画及び駅南まちなみづくりガイドラインに基づき、ゆとりと潤いにあふれた緑豊かな美しいまちなみが形成されています。また、大分市緑の基本計画における緑化重点地区になっています。



大分駅南口



大分いこいの道



大分いこいの道沿道のまちなみ

上野の森周辺エリア

- ・上野の森周辺エリアは、上野丘風致地区を含めた緑の拠点である都心の森として、中心市街地からのシンボリックな自然的景観を形成しています。



大分いこいの道と連続した緑となる上野の森

大分城址公園周辺エリア

- ・大分城址公園は、大分市の歴史的なシンボルであるとともに、中心市街地の貴重な緑とオアシス空間を形成しており、その周辺区域では景観地区等の指定を行っています。またその西側と南側は官公庁建物等による風格あるまちなみを形成し、北側と東側は古くからの低層住宅と新しい中高層住宅が混在した地区となっています。



大分城址公園



大分城址公園西側のまちなみ



大分城址公園東側のまちなみ

大友氏遺跡周辺エリア

- ・大友氏遺跡歴史公園は、中心市街地に近接し、日豊本線と国道10号が交差する付近に位置しており、文化・観光の拠点として整備を進めています。
- ・また大友氏遺跡歴史公園周辺では、住宅や店舗、病院などの開発が進んでいます。



南蛮 BVNGO 交流館



整備中の大友氏遺跡歴史公園



国道10号沿道の風景

都心景観軸エリア

- ・おおいた都心地区の景観形成上重要な特別エリアを結ぶ中央通り、(都)大分駅上野丘線(大分いこいの道)、県庁前古国府線、国道10号、国道197号、国道210号、(都)中島錦町線、(都)庄の原佐野線などの主要幹線道路は、地区の骨格となっています。
- ・また、中央通り、(都)大分駅上野丘線(大分いこいの道)は緑の都市軸や都心南北軸として、おおいた都心地区のメインストリートとして位置付けられています。
- ・(都)外堀西尾線、(都)六坊新中島線は地区の骨格をなす主要幹線道路をつなぐ補助幹線道路として位置付けられています。
- ・国道197号は幹線道路の再生(リボーン)として景観整備を行っています。
- ・国道10号、国道210号は交通が集中する主要幹線道路となっています。
- ・(都)中島錦町線は歴史的背景を踏まえた景観整備を行っています。
- ・高架下・鉄道残存敷では、大友氏遺跡へと続く遊歩道広場の整備を行っています。



整備された国道197号



整備された(都)中島錦町線



街路樹が育つ(都)庄の原佐野線

③課題

地区全体

- ・大分市中心部には、エリアごとに特色ある景観がありますが、それぞれの特色を活かした景観形成のさらなる推進や保全が必要です。
- ・各エリアに存在する多様な景観資源や、特色ある景観が点在しており、それらの連携が必要です。
- ・公共空間、民有空間の一体的な景観形成が必要です。

大分駅北口エリア

- ・大分駅府内中央口広場は大分の玄関口にふさわしい景観の維持とともに、広場の景観に調和した広場周辺の景観形成が必要です。
- ・中央通りではメインストリートにふさわしい景観形成が必要です。
- ・中央通りを挟む東西商店街のある各通りでは、各通りの特色を活かした景観形成が必要です。
- ・緑化重点地区にふさわしい緑化の推進が必要です。
- ・エリアの景観に配慮した屋外広告物のルール作りが求められています。

大分駅南口エリア

- ・大分いこいの道は、メインストリートにふさわしい景観の維持が必要です。
- ・上野の森への眺望を意識したまちなみの維持・形成が必要です。
- ・大分駅南地区地区計画及び駅南まちなみづくりガイドラインに基づいた景観の維持・保全が必要です。
- ・緑化重点地区にふさわしい緑化の維持・保全が必要です。

上野の森周辺エリア

- ・自然的景観の保全・形成が必要です。
- ・市民が憩い、安らげる場所として、大分市美術館などと一体的な景観形成が必要です。
- ・中心市街地や、別府湾を眺望する視点場の整備が必要です。

大分城址公園周辺エリア

- ・大分城址公園は、歴史的な環境の形成と、自然的景観の保全が必要です。
- ・大分城址公園周辺では、大分城址公園に調和し、緑の印象が豊かな落ち着いたまちなみの形成が必要です。
- ・目抜き通りにふさわしい連続感と調和のとれたまちなみ景観の形成・維持が必要です。
- ・散歩や散策に適した歩いて楽しいまちなみの形成・維持が必要です。

大友氏遺跡周辺エリア

- ・大友氏遺跡歴史公園は、歴史的な背景を踏まえた本市のシンボルとなる景観形成が必要です。
- ・大友氏遺跡歴史公園周辺では、中世豊後府内の歴史を活かした、魅力ある市街地景観の形成が必要です。
- ・大友氏遺跡歴史公園周辺の道路等は、歴史的背景を踏まえた景観形成が必要です。
- ・大友氏遺跡歴史公園周辺では、大友氏遺跡歴史公園の歴史的背景を損なわない屋外広告物のデザイン誘導が必要です。

都心景観軸

- ・道路景観は複数の管理者であるとともに、整備時期も異なるため、景観の統一感が求められています。
- ・道路景観は、地域景観の基本的空間となるような質の高い景観形成が求められています。
- ・幹線道路の緑化や電線類の地中化による景観形成が必要です。
- ・中央通りではメインストリートにふさわしい景観形成が必要です。
- ・大分いこいの道は、メインストリートにふさわしい景観の維持が必要です。
- ・国道197号は、県都の顔となる幹線道路として、景観の形成及び維持が必要です。
- ・国道10号、国道210号は、大分駅北口エリアを回遊する景観軸として、主要幹線道路にふさわしい景観形成が必要です。
- ・(都)中島錦町線は歴史的背景を踏まえた景観形成及び維持が必要です。
- ・(都)外堀西尾線、(都)六坊新中島線は地区の骨格をなす主要幹線道路をつなぐ補助幹線道路として位置付けられており、補助幹線道路においても景観軸としての景観形成が必要です。
- ・(都)六坊新中島線は歴史的背景を踏まえた景観形成が必要です。
- ・県庁前古国府線や高架下・鉄道残存敷では歴史文化観光拠点を結ぶ経路としての景観形成が必要です。

おおいた都心地区 現況と課題図

【地区全体】
 ・大分いこいの道、大分県立美術館、祝祭の広場、大分城址公園などの景観資源を有しており、エリアごとに特色ある景観があるが、それぞれの特色を活かした景観形成の更なる推進や保全が必要です
 ・各エリアに存在する多様な景観資源や、特色ある景観が点在しており、それらの連携が必要です
 ・公共空間、私有空間の一体的な景観形成が必要です

【中央通りを挟む東西商店街のある各通り】
 各通りの特色を活かした景観形成が必要です

【国道210号】
 主要幹線道路にふさわしい景観形成が必要です

【中央通り】
 メインストリートにふさわしい景観形成が必要です

【国道10号】
 主要幹線道路にふさわしい景観形成が必要です

【大分府内中央口広場】
 大分の玄関口にふさわしい景観の維持・形成が必要です

【大分いこいの道】
 メインストリートにふさわしい景観の維持が必要です

【大分いこいの道の沿道街区】
 上野の森への眺望を意識したまちなみの維持・形成が必要です

【上野の森周辺】
 自然的景観の保全・形成が必要です
 中心市街地や、別府湾を眺望する視点場の整備が必要です

【大分城址公園周辺】
 大分城址公園に調和し、緑の印象が豊かな落ち着いたまちなみの形成が必要です

【大分城址公園】
 歴史的な環境の形成と、自然的景観の保全が必要です

【国道197号】
 県都の顔となる幹線道路として、景観の形成及び維持が必要です

【中島錦町線】
 歴史的背景を踏まえた景観形成及び維持が必要です

【六坊新中島線】
 歴史的背景を踏まえた都心景観軸としての景観形成が必要です

【外堀西尾線】
 都心景観軸としての景観形成が必要です

【県庁前古国府線】
 歴史文化観光拠点を結ぶ経路としての景観形成が必要です

【大友氏遺跡歴史公園周辺】
 中世豊後府内の歴史を活かした魅力ある市街地景観の形成が必要です

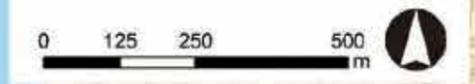
史跡大友氏遺跡保存管理計画書における景観形成目標エリア

【大友氏遺跡歴史公園】
 歴史的な背景を踏まえた本市のシンボルとなる景観形成が必要です

【鉄道高架下・残存敷】
 歴史文化観光拠点を結ぶ経路としての景観形成が必要です

凡例

-  大分駅南地区 地区計画指定区域
-  上野ヶ丘 風致地区指定区域
-  大分城址公園周辺地区 地区計画・景観地区指定区域
-  史跡大友氏遺跡保存管理計画書における景観形成目標エリア
-  主要幹線道路及び補助幹線道路等



④方針

地区全体

- ・エリアごとの景観特性を把握・分析し、エリアごとの景観形成の方向性の共有を図ります。
- ・エリア内の景観資源を整理し、それらの連携を図ります。
- ・エリアの景観形成の方向性を踏まえた公共空間整備を図ります。
- ・エリアの景観特性を考慮し、地区の景観向上に寄与する民有空間の景観形成を図ります。

大分駅北口エリア

- ・本市の玄関口である大分駅に降り立った人々が大分のまちは美しいと感じる景観形成を図ります。
- ・各通りの景観特性を把握・分析し、通りごとの景観形成の方向性の共有を図ります。
- ・中央通りではメインストリートにふさわしい景観形成を図ります。
- ・電線類の地中化や緑化、広告・看板設置の規制・誘導などを進め、中心市街地にふさわしい美しいまちなみ景観の形成を図ります。
- ・街路樹、敷地内の樹木・花壇、壁面緑化・屋上緑化などを推進し、花と緑に囲まれた潤いのある都市空間の形成を図ります。

大分駅南口エリア

- ・大分いこいの道では、植栽や沿道の建物と一体となった中心市街地のシンボルとなるメインストリートにふさわしいまちなみ景観の形成を図ります。
- ・上野の森への眺望を意識したまちなみの維持・形成を図ります。
- ・大分駅南地区地区計画等に基づき、建物デザインや広告・看板、緑化などにより、落ち着きと潤いのあるまちなみ景観の形成を図ります。
- ・街路樹、敷地内の樹木・花壇、壁面緑化・屋上緑化などを推進し、花と緑に囲まれた潤いのある都市空間の形成を図ります。

上野の森周辺エリア

- ・緑の拠点である都心の森の景観保全と形成を図ります。
- ・大分市美術館などと一体となった憩い、安らぎの交流空間としての景観形成を図ります。
- ・中心市街地や、別府湾を眺望する視点場の整備を検討します。
- ・風致保全方針に基づき、公園・山林・社寺・住宅の緑等が一体となった樹木に富む景観の醸成を図ります。

【推進編】第6章 景観形成重点地区等

大分城址公園周辺エリア

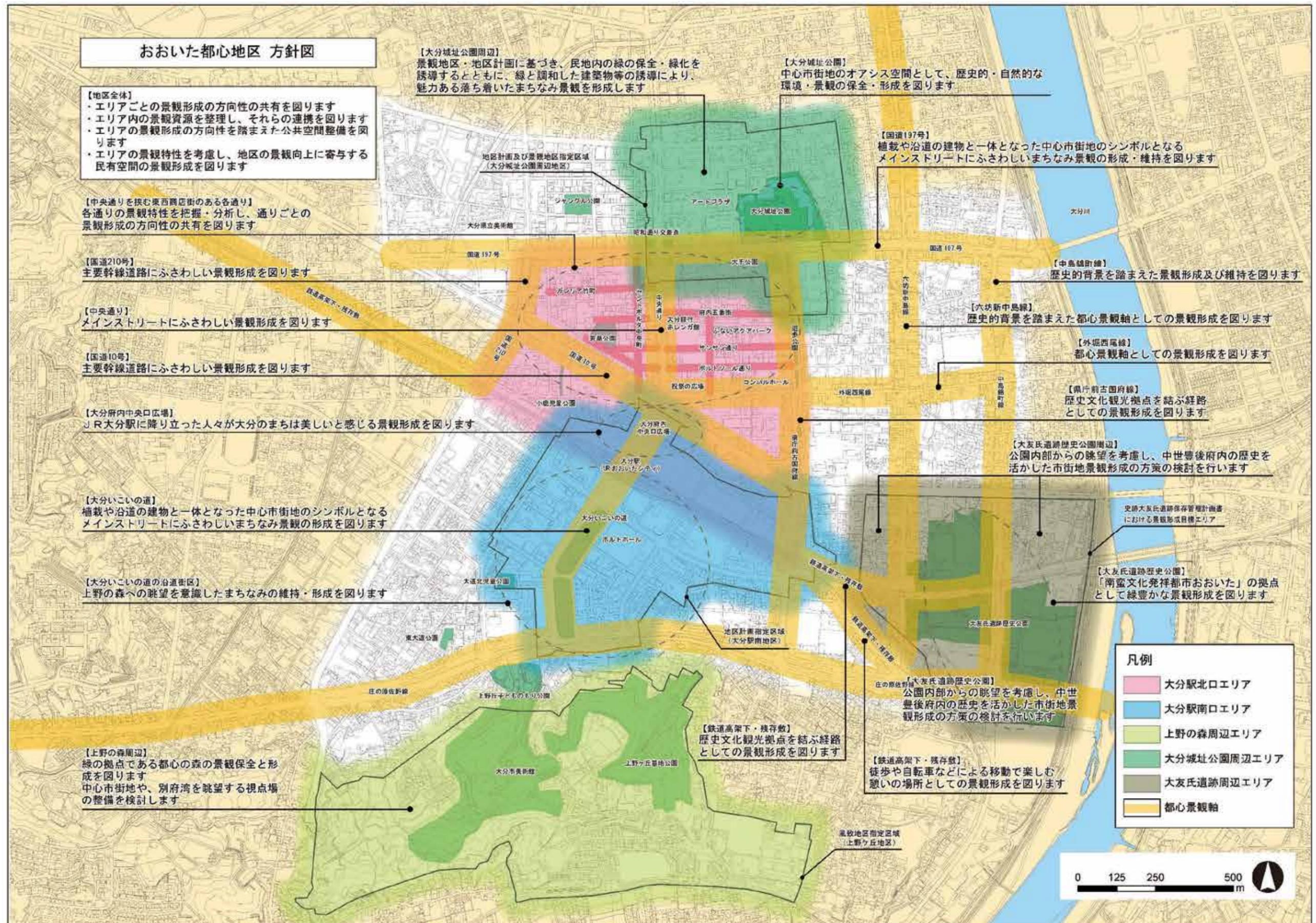
- ・大分城址公園は、中心市街地のオアシス空間として、歴史的・自然的な環境・景観の保全・形成を図ります。
- ・大分城址公園周辺では、景観地区・地区計画に基づき、民地内の緑の保全・緑化を誘導するとともに、緑と調和した建築物等の誘導により、魅力ある落ち着いたまちなみ景観を形成します。
- ・国道197号や県道大分港線沿いでは、壁面位置や建物高さ・意匠形態のコントロールにより、通り全体として連続性と調和のとれたまちなみ景観の維持・増進を図ります。
- ・緑の拠点として都心の森の景観保全と形成を図ります。

大友氏遺跡周辺エリア

- ・大友氏遺跡歴史公園は、「南蛮文化発祥都市おおいた」の拠点として、緑豊かな景観形成を図ります。
- ・大友氏遺跡歴史公園周辺では、公園内部から周辺を望む眺望を考慮し、中世豊後府内の歴史を活かした市街地景観形成の方策の検討を行います。
- ・大友氏遺跡歴史公園周辺道路等における歴史的背景を踏まえた景観形成を図ります。

都心景観軸

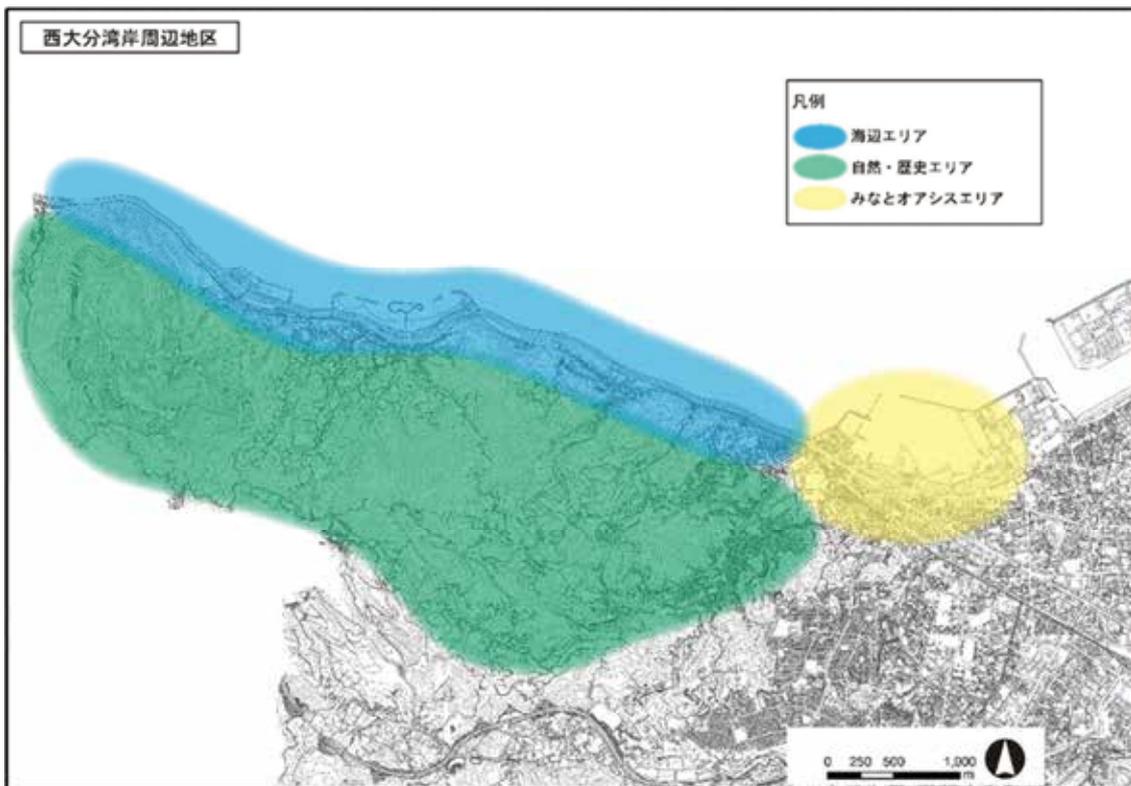
- ・景観の軸となる道路景観は、地域景観に大きな影響を与える重要な要素であるため、景観重要公共施設の指定や、管理者間の協議・連携により、地域景観の基本的空間となるような質の高い道路景観を形成します。
- ・電線類の地中化や緑化、広告・看板設置の規制・誘導などを進め、中心市街地にふさわしい美しいまちなみ景観の形成を図ります。
- ・中央通りではメインストリートにふさわしい景観形成を図ります。
- ・大分いこいの道では、植栽や沿道の建物と一体となった中心市街地のシンボルとなるメインストリートにふさわしいまちなみ景観の形成を図ります。
- ・国道197号では、植栽や沿道の建物と一体となった中心市街地のシンボルとなるメインストリートにふさわしいまちなみ景観の形成・維持を図ります。
- ・国道10号、国道210号は、大分駅北口エリアを回遊する景観軸として、主要幹線道路にふさわしい景観形成を図ります。
- ・(都) 中島錦町線は歴史的背景を踏まえた景観形成及び維持を図ります。
- ・補助幹線道路である(都) 外堀西尾線、(都) 六坊新中島線も景観軸としての景観形成を図ります。
- ・(都) 六坊新中島線は歴史的背景を踏まえた景観形成を図ります。
- ・県庁前古国府線や鉄道残存敷では歴史文化観光拠点を結ぶ経路として、徒歩や自転車で楽しむ憩いの空間としての景観形成を図ります。



(2) 西大分湾岸周辺地区

①地区設定の考え方

- ・複数の重点地区候補地が集積するとともに、豊かな自然に囲まれ、さまざまな観光・レクリエーション施設が集積し、本市の交流人口の拡大や魅力創造をけん引する地区であることから、景観上先導的に景観形成を進める必要がある区域として「西大分湾岸周辺地区」を設定しました。
- ・大分市都市計画マスタープラン及び大分市西部海岸地区魅力創造拠点施設形成基本構想の区域設定を考慮して地区を設定します。
- ・景観特性に応じ、海辺、自然・歴史、みなとオアシスの3つのエリア区分を設定します。



②地区の現状

地区全体

- ・西大分湾岸周辺地区は「高崎山」、「別府湾」、「柞原八幡宮」などの豊かな自然・文化に囲まれ、「高崎山自然動物園」、「大分マリンパレス水族館うみたまご」、「みなとオアシスカんたん港園」、「田ノ浦ビーチ」などの観光施設・レクリエーション施設が集積する地域資源に恵まれた地区です。
- ・海と山が非常に近く、海と山と港の調和による特徴的な景観を有しています。
- ・柞原八幡宮周辺から、西大分港周辺は大分市歴史的風致維持向上計画の重点地区となっています。
- ・国道10号は、別府湾岸・国東半島海への道の一部として日本風景街道に登録されており、別府湾の美しい眺望を望むことができます。
- ・高崎山周辺は自然環境を保全する地域として位置付けられています。

海辺エリア

- ・大分マリンパレス水族館うみたまごや田ノ浦ビーチから臨海工業地帯、高崎山、別府湾、別府市街地を望む良好な眺望景観を有しています。
- ・沿岸部と背後の高崎山が調和のとれた景観があり、日豊本線の鉄道車窓や国道10号の車の車窓からは、シークエンス景観を体感できます。
- ・「大分マリンパレス水族館うみたまご」や「おさる館」のある区域は「高崎山海岸地区地区計画」が指定されています。
- ・国道10号は、別府湾岸・国東半島海への道の一部として日本風景街道に登録されているほか、屋外広告物禁止地域に指定されています。



田ノ浦ビーチと高崎山



国道10号沿いの景観



別府市街地の夜景

自然・歴史エリア

- ・高崎山を中心とした良好な自然景観と、その自然を活かしたセラピーロードがあり、高崎山の頂上付近には、大友氏により築城された高崎城跡があります。
- ・また海を臨む斜面地では、地域特産のびわ畑があります。
- ・柞原八幡宮は、古来より宇佐神宮の分霊地として国司・武家などから崇敬された「豊後国一の宮」として信仰を集めていた神社です。
- ・高崎山周辺は瀬戸内海国立公園に指定されています。
- ・エリア内では、市街化調整区域や宅地造成工事規制区域、農業振興地域内の農用地区域、自然公園法による特別保護地区や第2種特別地域、保安林などが指定されており、開発は抑制されています。



別府湾上空から見た高崎山



柞原八幡宮



高崎山から見た別府湾

(出典：大分市森林セラピーHP)

みなとオアシスエリア

- ・当エリアは、大分港発祥の地として近代以降、港町の歴史を持ち、現在でも、旅客フェリーターミナルとして本市の海の玄関口の役割を果たしています。
- ・また、海岸線のほとんどが臨海工業地帯で占められている本市において当地区は貴重な水際線であり、港の環境整備も行われ、憩いとにぎわいのある親水空間として活用されています。
- ・後背地には、柞原八幡宮の仮宮、近代遺産とも言える富士紡績工場や西大分駅（築100年）、遊郭建築など、歴史を伝える建造物等が点在します。
- ・西大分駅からは海への視界が開けており、港町の風情を感じることができる地区です。
- ・港を中心とした良好なまちなみ景観の形成を図る西大分港周辺地区は景観地区及び地区計画が指定されています。



西大分の整備されたウォーターフロント



地区の歴史を伝える建物



西大分港の夜景

③課題

地区全体

- ・国道10号沿道の景観保全・形成と、沿道から見る稜線などの自然景観の保全など、沿岸部と背後の高崎山とが調和のとれた景観形成が必要です。
- ・自然、文化と調和した良好な景観形成が必要です。
- ・ウォーターフロントを中心とした良好な景観の形成が必要です。
- ・地区にある自然・文化・歴史などのさまざまな景観資源を活かした景観形成が必要です。
- ・広域的な景観形成の観点から、別府湾周辺の他の自治体との連携が必要です。

海辺エリア

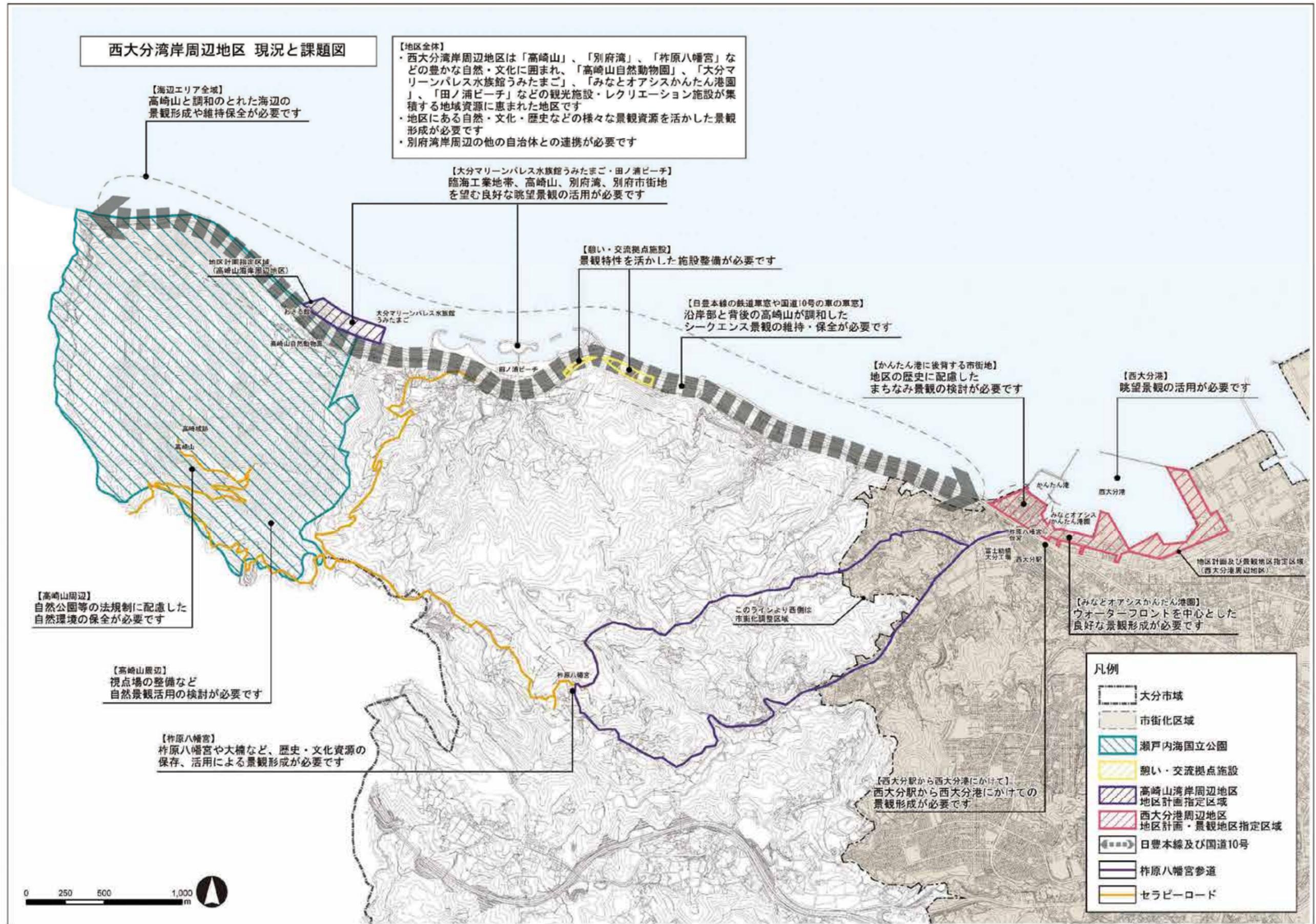
- ・高崎山と調和のとれた海辺の景観形成や維持保全が必要です。
- ・国道10号や日豊本線からのシークエンス景観の維持・保全が必要です。
- ・臨海工業地帯、高崎山、別府湾、別府市街地等の眺望の活用が必要です。
- ・エリアの景観特性を考慮した建造物等への景観的配慮が必要です。

自然・歴史エリア

- ・自然公園等の法規制に配慮した、高崎山周辺の自然環境の保全が必要です。
- ・柞原八幡宮や大楠など、歴史・文化資源の保存、活用による景観形成が必要です。
- ・視点場の整備など、自然景観活用の検討が必要です。
- ・自然環境に調和した施設整備に向けた規制・誘導が必要です。

みなとオアシスエリア

- ・みなとオアシスかんたん港園等のウォーターフロントを中心とした良好な景観形成が必要です。
- ・かんたん港に隣接する市街地では、地区の歴史に配慮したまちなみ景観の検討が必要です。
- ・西大分港から見える眺望景観の活用が必要です。
- ・西大分駅から西大分港にかけての景観形成が必要です。
- ・国道10号沿道では、従来から多くの屋外広告物が掲示されていることから、広告物設置ルールの再検討が必要です。



④方針

地区全体

- ・法規制に配慮した、高崎山周辺の自然環境の保全を図ります。
- ・高崎山の自然と、柞原八幡宮を中心とした文化が調和した景観形成を図ります。
- ・沿岸部と背後の高崎山とが調和のとれた景観形成を図ります。
- ・景観地区、地区計画に即したウォーターフロントを中心とした良好な景観のさらなる形成を図ります。
- ・さまざまな景観資源を活用するため、他の自治体も含めた関係者や関連事業と連携した景観形成の方策を検討します。

海辺エリア

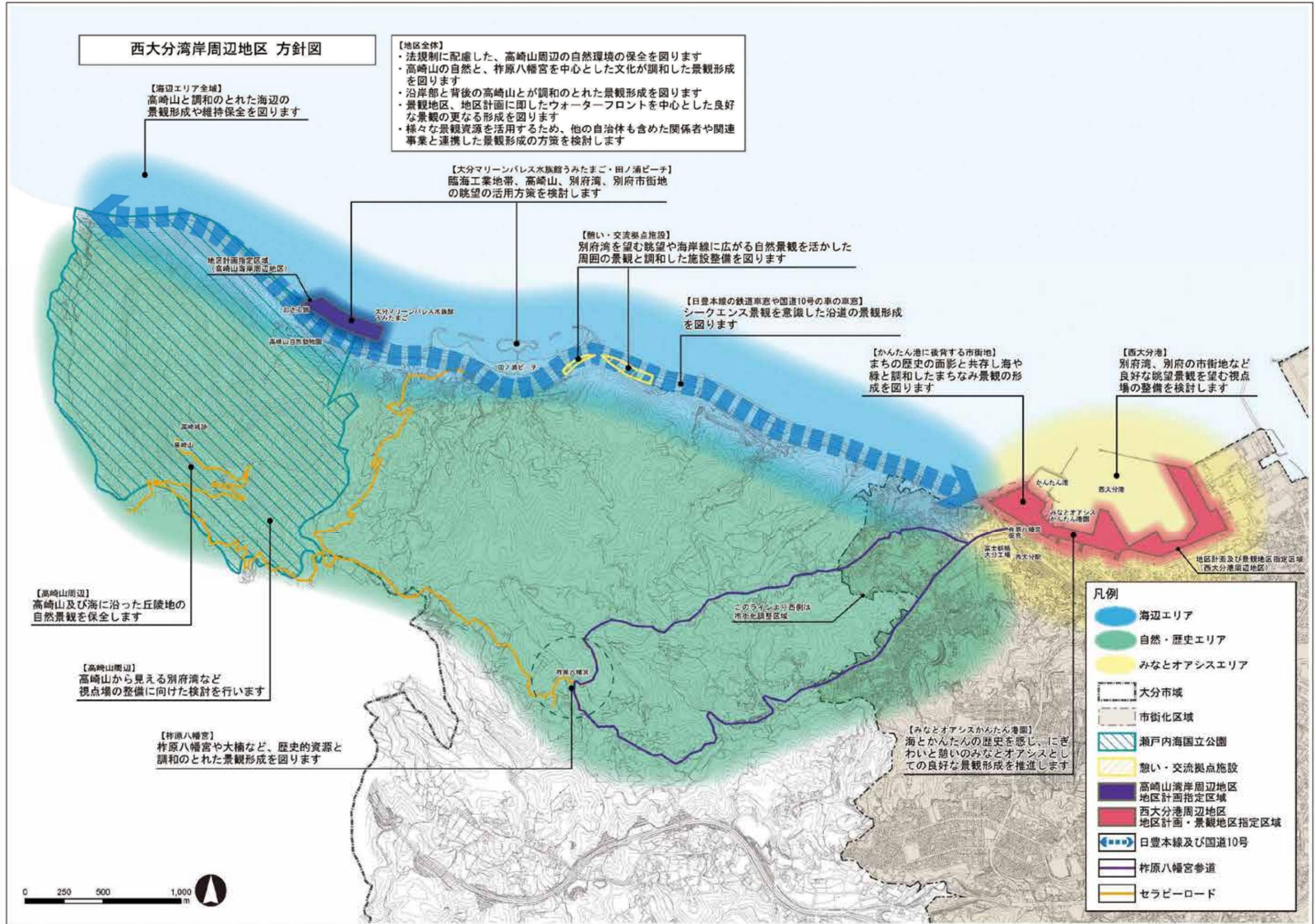
- ・高崎山と調和のとれた海辺の景観形成や維持保全を図ります。
- ・国道10号や日豊本線からのシークエンス景観を意識した沿道の景観形成を図ります。
- ・臨海工業地帯、高崎山、別府湾、別府市街地等の眺望の活用方策を検討します。
- ・建造物等に対して景観的に配慮してもらおう方策を検討します。

自然・歴史エリア

- ・高崎山及び海に沿った丘陵地の自然景観を保全します。
- ・柞原八幡宮や大楠など歴史的資源と調和のとれた景観形成を図ります。
- ・高崎山から見える別府湾など、視点場の整備に向けた検討を行います。
- ・自然環境に配慮した施設整備に向け、景観と調和した規制誘導方策を検討します。

みなとオアシスエリア

- ・みなとオアシスかんたん港園等のウォーターフロントを中心とし、海とかんたんの歴史を感じ、にぎわいと憩いのみなとオアシスとしての良好な景観形成を推進します。
- ・かんたん港に隣接する市街地では、まちの歴史の面影と共存し、海や緑と調和したまちなみ景観の形成を図ります。
- ・西大分港から見える別府湾、別府の市街地など、良好な眺望景観を望む視点場の整備を検討します。
- ・西大分駅から西大分港を連絡する経路の景観形成方策を検討します。
- ・国道10号沿道での屋外広告物のルールを検討します。



4. 重要地区の景観形成

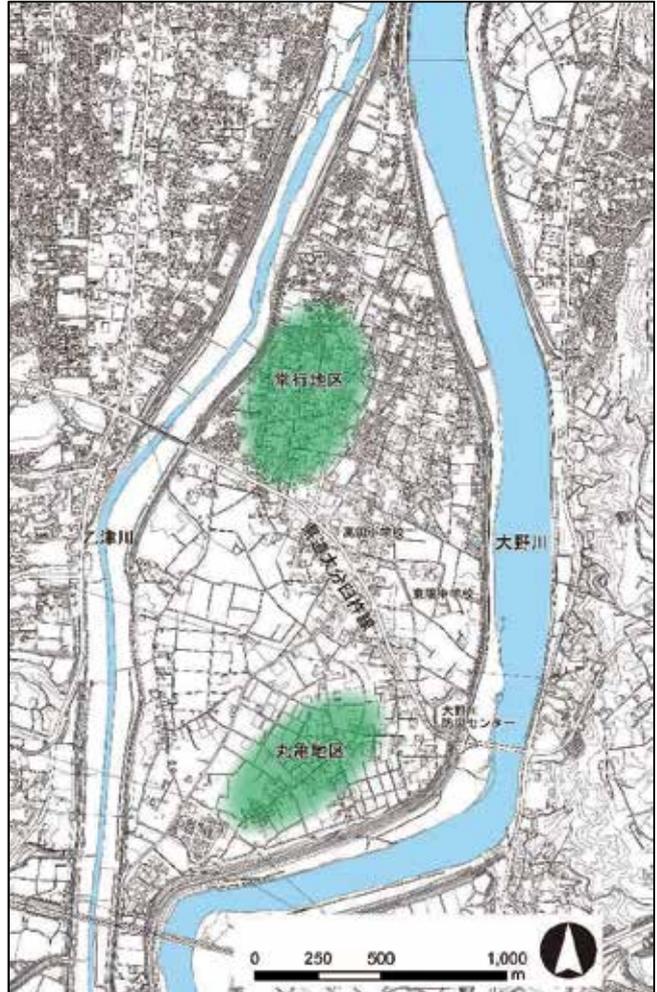
(1) 高田輪中地区

①区域設定の考え方

- ・輪中地区（大野川と乙津川に囲まれた区域）の中で、特に固有の石垣等による沿道景観が残る丸亀地区、常行地区を含む区域を基本とします。

②地区の現状

- ・高田地区は、大野川と乙津川に囲まれた三角州で、輪中を形成しており、かつて洪水の常襲地帯でした。そこで、住民たちは、屋敷を石垣で高くし、家の周囲をクネと呼ばれる防水林で取り囲み、洪水の勢いを弱め、家屋の流出を防いでいました。
- ・洪水が去ると、上流から運ばれた肥えた土が積もり、豊かな土壌で農業を営んでいた高田輪中は川と共存する文化を創り出してきました。
- ・昭和 37 年の分流堤の完成により洪水災害の危険性が低くなった現在でも、常行地区及び丸亀地区では石垣が連続するまちなみを形成しています。
- ・県道大分臼杵線より北側の地区は、住宅戸数密度が高く、古くからの住宅様式が点在する一方、近年は小規模な住宅団地も開発されています。
- ・県道大分臼杵線より南側の地区は、施設園芸等を行う農地が多く、敷地規模が大きな農家住宅により沿道集落を形成しています。



③課題

- ・石垣及び生け垣で構成される沿道景観の保全を図る必要があります。
- ・川との共生のために先人が培ってきたまちなみの在り方について、検討していく必要があります。
- ・輪中の形成過程や、輪中景観について、地区の歴史も含めて周知していく必要があります。

【推進編】第6章 景観形成重点地区等

【常行地区の沿道】

- ・常行地区の一部地域は、道路の両側ともに玉石石垣と切石積み塀、マキ等の生垣の組合せが美しく保たれています。



- ・建替え時の道路拡幅や駐車場の設置などにより石垣が撤去され、古くからの石垣と生け垣が連続するまちなみが少なくなっています。



【丸亀地区の沿道】

- ・常行地区に比べて石垣の分布範囲は狭いですが、農村集落の生活感のある通りとなっています。また、道路に垂直に板をはめ込み水が流れ込むのを防ぐサブタ跡が唯一残っています。
- ・道路舗装事業により道路面が嵩上げされ、元々の道路高より 20～30 cm高くなっているため相対的に石垣の高さが低くなっています。



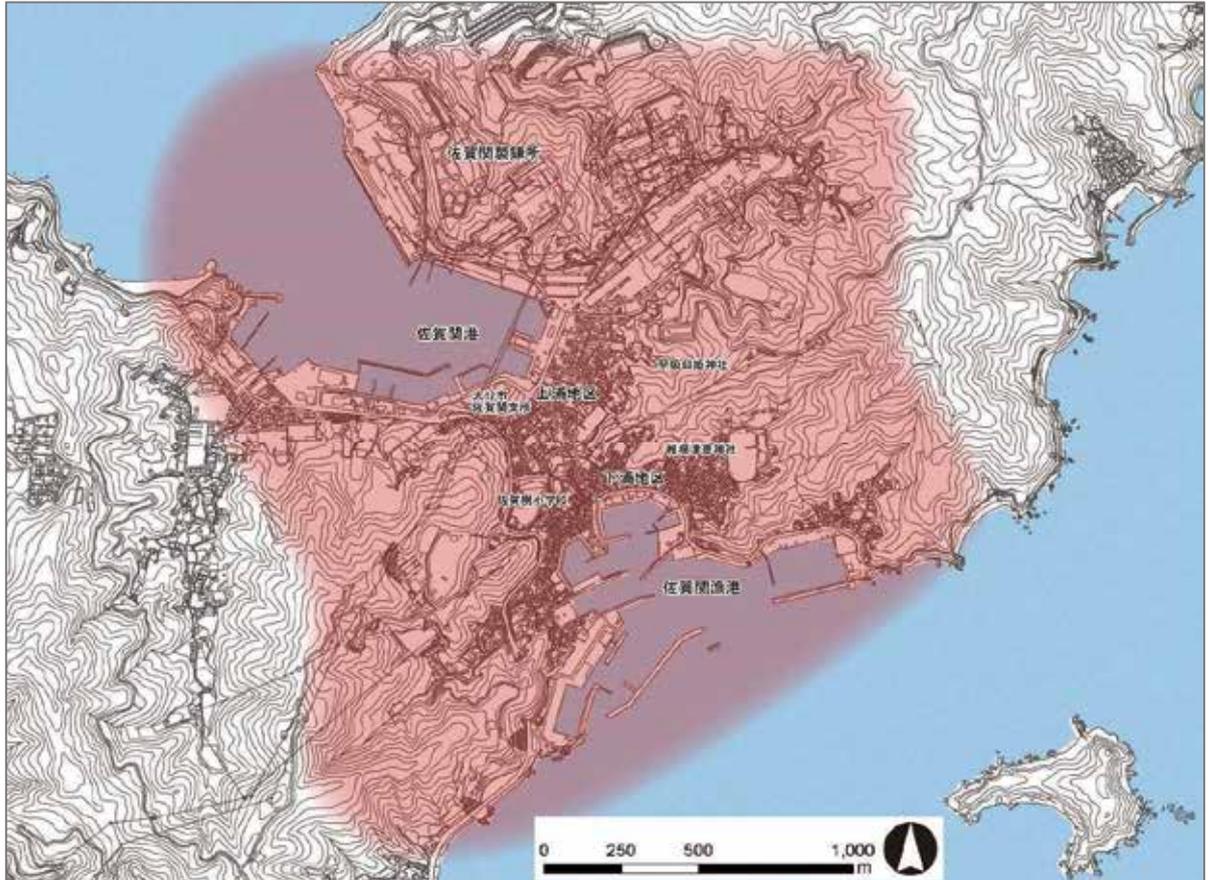
- ・移転等に伴い石垣・生け垣が放置されている箇所もあります。



(2) 佐賀関港・佐賀関漁港周辺地区

①区域設定の考え方

- ・明治維新までの宿場町として、大正以降の日本鉱業佐賀関製錬所（現 パンパシフィック・カッパー株式会社佐賀関製錬所）の企業城下町を包含する上浦地区及び漁港のある下浦地区を含む区域と、市街地が立体的に構成される背景となる山の稜線を含めた区域を基本とします。



②地区の現状

- ・漁港から連続する漁師町が階段状となり立体的に構成される特徴があります。また、地形的な特性から山の稜線が背景として美しいスカイラインを描いています。
- ・古くからの伝統的な建築物が残り、かつての面影を伝えるまちなみが残っています。
- ・製錬所の煙突は歴史的な物語を伝えるとともに、地域のランドマークとなっています。

③課題

- ・漁港、階段状に重なる建物、山の稜線とつながる地形に沿った景観について、地区の暮らしも含めて保全する方策を検討する必要があります。
- ・宿場町としての地区の歴史を含めて、周知していく方策を検討する必要があります。
- ・良好な景観を活かすための眺望の良い視点場の共有や整備の検討が必要です。

【推進編】第6章 景観形成重点地区等

【佐賀関漁港と集落】

- ・前景の漁港、丘陵部の住宅等の建物、遠景の山の緑が佐賀関を代表する漁港景観となっています。



【宿場町の面影を伝えるまちなみ】

- ・勝海舟、坂本竜馬が投宿した宿場町の面影を今に伝えるまちなみが残されています。
- ※まちなみを特徴づける要素（屋根：傾斜した和瓦、構造：木造、外壁：板張り 等）。



【眺望（視点場）】

- ・高台にある椎根津彦神社は地域のシンボルのひとつとなっており、そこからは佐賀関漁港が眺望できます。



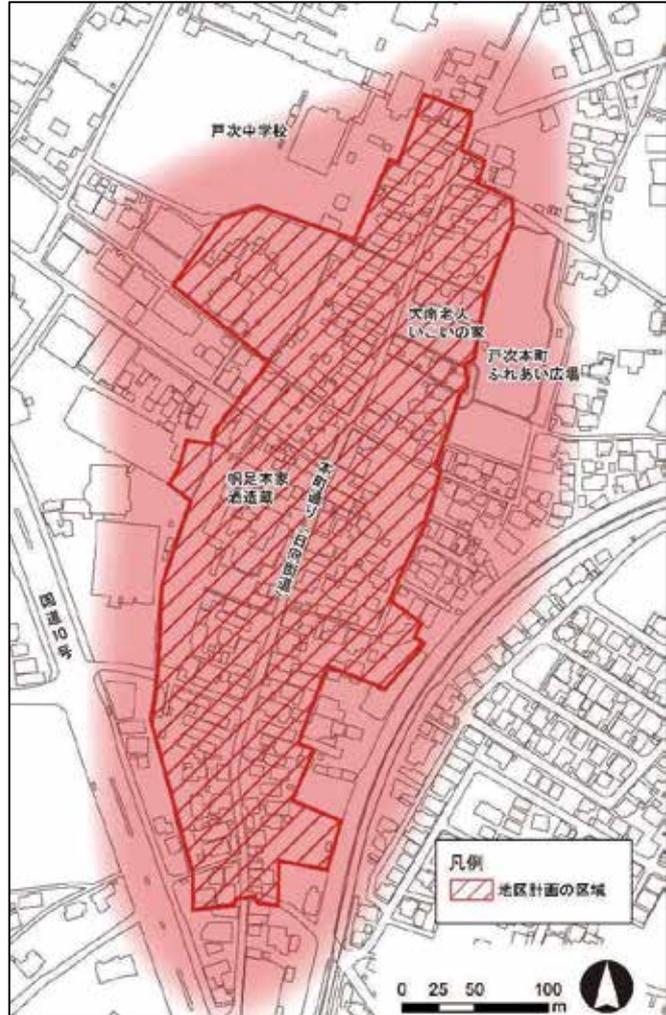
(3) 戸次本町地区

①区域設定の考え方

- ・戸次本町地区計画の区域を基本とします。

②地区の現状

- ・戸次本町は江戸時代末期、日向街道の要衝であり、商業と農業が混在している在町として栄えました。帆足家の酒造業を始めとした商いが盛んであるとともに、度重なる大野川の洪水により、肥沃な土が流れてきたため、農業も盛んでした。現在でも戸次ごぼうが有名です。
- ・明治39年の大火により、30戸余りの建物が燃えてしまいましたが、現在でも明治後期から大正にかけての建物が建ち並び、歴史的なまちなみが残されています。
- ・大野川の氾濫による水害に対して、道路より3段石積みの地上げをしている家屋が多くみられます。
- ・「戸次本町街づくり推進協議会」が中心となり平成13年に地区計画を定め、その後も街なみ環境整備事業等を活用し、建物や地区の修景や修理が行われています。



③課題

- ・駐車場等により、建物の壁面が揃っていない箇所も見られ、まちなみの連続感を意識したまちなみ形成が大切です。
- ・区域内には鮮やかな色の自動販売機、のぼり旗等も見られ、まちなみに配慮した工作物や屋外広告物についての検討が必要です。
- ・水害対策として石段をかさ上げしていることなど、地区の歴史や生活の知恵が現れている景観について周知していく必要があります。

【推進編】第6章 景観形成重点地区等

【帆足本家酒蔵付近】

- ・帆足家の富春館や酒蔵、ギャラリーなどが集まっており、通りで一番のにぎわいがあるエリアです。修理や修景により、江戸時代末期から昭和初期の風情を思わせる建物が並んでいます。



【地区計画等によるまちなみの誘導】

- ・戸次本町地区景観整備事業の修景基準では建具や格子についても定められており、玄関戸や掃出し窓、腰窓、雨戸は木製サッシや木製格子を付けることとなっています。日向街道沿いの至る所で見受けられます。



【石段】

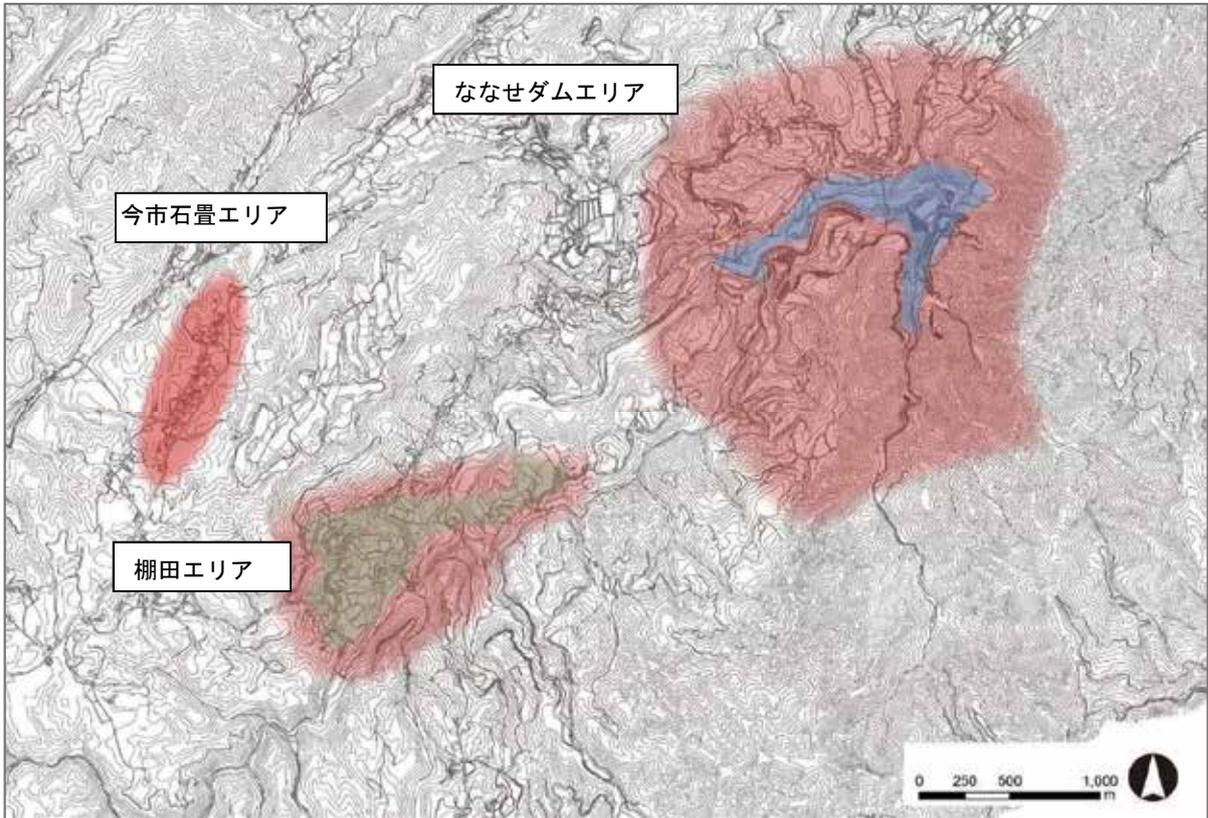
- ・大野川の氾濫により、戸次地区は水害が多発していたため、石段でかさ上げしている家が現在でも多く残っています。



(4) 今市石畳・棚田・ななせダム地区

①区域設定の考え方

- ・旧野津原町に存する景観資源である石畳が整備された旧肥後街道沿道の区域、棚田景観が保全された区域とその背景となる山の稜線を含む区域、ななせダム周辺区域とその背景となる山の稜線を含む区域を基本とします。



②地区の現状

- ・今市石畳エリアは、江戸時代の豊後街道（肥後街道）の石畳が復元整備されています。この石畳は、県指定史跡「参勤交代道路」であり、さらに文化庁による「歴史の道百選」に選定されています。沿道には緑豊かなゆとりある敷地に1～2階の住宅が建ち並び、周辺は静かな里山景観です。
- ・棚田エリアは、七瀬川をつくる谷戸に美しい棚田が広がっています。
- ・ななせダムエリアは、大分川の支流である七瀬川の上流に位置し、見晴らしの良い展望台も整備されています。

③課題

- ・今市石畳エリアでは、石畳や石垣・生け垣を含むまちなみ景観の保全・活用に関する検討が必要です。
- ・棚田エリアは、棚田景観の保全に関する検討が必要です。
- ・ななせダムエリアは、野津原地区の新たな自然景観を楽しむ場としての周知等が必要です。
- ・上記3エリアをひとつのストーリーの中で魅力ある景観として情報発信する必要があります。

【推進編】第6章 景観形成重点地区等

【今市石畳エリア】

- ・沿道建物は、主に1～2階で、道路境界から1～2m程度引いて建てている立地が多くみられます。石畳沿道には、石垣や生垣があり、石畳とあわせて沿道景観の重要な要素なっています。



【棚田エリア】

- ・先人が汗を流し斜面を切り開いて作られた、美しい棚田を見ることができ、いやしの景観が広がります。



【ななせダムエリア】

- ・「ななせダム」、「道の駅のつはる」は、2019年に完成し、ダム等への視点場も整備され、野津原地区の新たな観光、交流拠点を形成しています。

